



# 国際交流員の活動日誌

vol.50



## Information

市政だより英語ダイジェスト版を市役所、総合支所、保原駅、梁川駅で配布しています。

## 「原動機付自転車」

### Gentsuki Motorcycles

5月はゴールデンウィークの月で、例年は天気が良いので、バイクで旅する人が多くなる時です。実はこの連休中しか使われていないバイクは多いと思います。僕もバイクに乗りますが、格好良く力持ちの単車ではなく、簡単な原動機付自転車です。そして晴天の休日だけではなく、一年中乗ってしまいます。特に伊達市に引越して来てからよく乗り始め、2年半で1万キロも乗りました。

日本の原付は素晴らしい

と思います。荷物はあまり積みませんが、一人の日帰り旅ならびつたりです。低燃費で税金と保険が安いし、節約にもなります。自治体のご当地ナンバープレートが付けられるので、旅行しながら町のPRもできてしまいます。

原付を買う時は安全が心配でした。しかし、考えてみるとよく使う自転車より電灯が大きくて、被るヘルメットも丈夫。そして大きいバイクではないので、危険な速度で走れません。原付運転の楽しさは高速で飛ばす事ではなく、質素な機械でひっそりとゆっくりと旅を楽しむ事なので、安全であるべきだと思います。今年、3つの密を避けるためにあまり乗らないつもりですが、連休が終わったらまた乗る事を楽しみにしています！

## 地域の魅力 ふる里再発見

### 養蚕技術を普及させた偉人

～渡邊源兵衛～

企画展

渡邊源兵衛と養蚕

4/24(土)～開催

保原歴史文化資料館

伊達市保原歴史文化資料館では、令和3年度第1回企画展として「渡邊源兵衛と養蚕」を4月24日(土)から開催します。

渡邊家は、古く南北朝時代(約700年前)に北畠顕家卿旗下の武士として活躍し、後に地元へ帰農したと伝えられ、代々大庄屋格として地域のまとめ役を務めてきました。

11代渡邊源兵衛は、旧上保原村に天保2(1831)年に生まれ、家業の養蚕と蚕種製造に励みました。明治4(1871)年の廃藩置県後、福島勸業諮問委員・伊達郡農事通信委員・村会議員・十五ヶ村連合会議員・村長などを歴任しました。

生産した蚕種や繭は、伊達郡共進会・第2回内国勸業博覧会・群馬県等八県連合会共進会に出品し入賞しました。

また、福島県勸業課御用達として各府県に桑苗や蚕

種の販売、養蚕の技術指導のため、養蚕教師約300人を派遣しました。さらに地元には、各地から実習生を受け入れ、日本の養蚕業の発展に寄与しました。

源兵衛翁が58歳のとき、門人赤井半七・深谷角左衛門など弟子数百人が集まり翁の建碑を企画。時の内閣総理大臣黒田清隆伯爵の揮毫、元老院議員従四位文学博士中村正直の撰・従六位岡守節の書をもって明治21(1888)年に上保原地内に建立しました。

明治時代、伊達市が養蚕業先進地区として全国に桑苗や蚕種の販売、養蚕教師の派遣行っていたことなどを渡邊源兵衛(「一条勇家文書」)を通して紹介します。



渡邊源兵衛功德碑